

富永徳彦

とくひこ

キリスト教神學者、小説家。明治八年十月十九日大

分縣南海部郡佐伯町生れ、昭和五年四月十三日歿（六七一—一九三〇）。號

登徒、蕃江、まが蕃江生、T. Tomiと署名。明治二十三年鶴谷學館に入

り、詩學及び普通學を修む。翌年佐伯メソヂスト教會にて宣教師ウイ

ルソントより受洗。二十五年電信局に就職。翌年國木田獨歩が鶴谷學館

教師として著任、師弟の關係を結ぶ。二十七年職を辭し、獨歩に伴は

れ上京、その紹介により民友社に入社、のち福音新報社に轉ず。二十

年日本基督教傳道師の准允を受く。伊勢崎、金澤の教會牧師を経て、

二十九年東京神學社教授、翌年駒込基督教會を創設した。この間、創作

『蘆のふたふた』(蕃江生名、明治二十一年十二月二十一日春陽堂)、

『朱と紫』(富永蕃江生名、明治二十一年十一月二十一日敎文館)、

『荒磯』(富永蕃江名、明治二十八年四月二十五日民友社)等の他、

翻譯『雪崩と百合』(ジヨルジ、エリオットの『ロコモウ』の梗概)(富

永蕃江生名、明治二十五年五月四日民友社)、ナサニエル、ホーソル

ン作『緋文字』(富永蕃江名、明治二十六年十一月六日東文館)を出

版。

その後、兼鴨大學、日蓮京大學、駒澤曹洞京大學に出演。一方、雜誌

『基督の徒』(大正二年)、『新精神』(大正十一年)を創刊。大正

十四年新公同神學院を創立、自ら院長兼教授となる。昭和二年京教團

體法案に反對運動を指導す。

著書は他、『基督教新解』(明治四十一年十一月十九日昭倫社)、『基

基督教の根本問題』(大正二年三月三日警醒社書店)、『基督教神學』

(大正四年九月八日警醒社書店)、『有神論大系』(大正六年六月十

八百盛齋社書志)、 『聖書を讀むに前』 (昭和二年九月、二百新精神同  
 志社)、 『生活と基督教』 (昭和五年十一月十八日新生堂)、 『未來  
 の創造』 (富永是保編、昭和七年一月十四日新生堂)、 『富永德磨說教集  
 第一卷』 (、『基督教とは何ぞや』 (昭和七年十月十五日新生堂)、  
 『基督教精神より觀たる日本及世界』 (昭和九年十一月十九日富永德磨  
 全集刊行會)、 『キリストの新精神―日本と世界』 (昭和四十五年四  
 月十三日富永德磨拜天40年記念出版委員會、新教出版社) 等。追憶集  
 『富永德磨先生記念文集』 (富永德磨先生記念文集編集委員會編、昭  
 和二十年十一月二十五日富永會) がある。

